

一般口演1

11月3日 C会場 13:45-18:00

形態・機能1 (座長：近藤 修)

- A1 13:45-14:00 Quadrangulus ovalo-jugularisの形状はヒトと他の動物との違いを鮮明に表現している／澤野 啓一 (神奈川歯大・法医)
- A2 14:00-14:15 ジャワ原人化石サンギラン9号頭蓋の頭蓋腔形態／久保 大輔 (北海道大・医)
- A3 14:15-14:30 鼻根部周辺3次元形態解析の復顔研究への応用の検討／大野 憲五 (佐賀大・医)
- A4 14:30-14:45 有髪頭部形状から無髪頭部形状を推定できるか？／河内 まき子 (産総研・人間情報)

形態・機能2 (座長：河内 まき子)

- A5 14:45-15:00 テナガザルの声帯の機能適応に関する三次元形態学的解析／野村 嘉孝 (京都大・理)
- A6 15:00-15:15 ヒト上科における大腿骨頸部横断面形状の比較／松村 秋芳 (防衛医大・生物)
- A7 15:15-15:30 歩行時における足底と床面間の距離を測定する装置の開発／足立 和隆 (筑波大・体育)
- A8 15:30-15:45 高齢者歩行の特徴をサイズ・速度・安定性から考える／木村 賛 (東京大・総合博)
- A9 15:45-16:00 視覚情報が立位股関節回旋運動時の荷重動揺軌跡および角度に及ぼす影響の検討／竹内京子 (健康教育学研究所)

形態・成長・進化1 (座長：足立 和隆)

- A10 16:00-16:15 ヒトにおける大腿骨形態の出生から老年期までの成長変化／森本 直記 (京都大・理)
- A11 16:15-16:30 胎児期から青年期にわたる縄文時代人と現代日本人の四肢プロポーションについて／水嶋 崇一郎 (聖マリアンナ医大)
- A12 16:30-16:45 ヒト科における生後の四肢相対成長／小林 諭史 (京都大・理)
- A13 16:45-17:00 骨盤上の妊娠出産痕と妊娠出産回数の関係／五十嵐 由里子 (日本大・松戸歯)

形態・成長・進化2 (座長：井原 泰雄)

- A14 17:00-17:15 古人類の出産間隔の推定／中橋 渉 (総研大・先端科学)
- A15 17:15-17:30 類人猿各種における成熟後生存曲線の比較／佐々木 智彦 (東京大・総合博)
- A16 17:30-17:45 対数正規分布する変量の変動係数を使った比例的変動の有意差検定／多賀谷 昭 (長野看護大)
- A17 17:45-18:00 進化と生活史の地理空間的表現：人類学におけるマップ化手法／David Sprague (農研機構・農業環境変動)

一般口演2

11月4日 C会場 9:00-11:00

形態・成長・遺伝 (座長: 中橋 渉)

- A18 9:00-9:15 生体計測データに基づいた日本人および環太平洋集団の体量推定 / 瀧川 渉 (駒澤大・総合教育)
- A19 9:15-9:30 ポリネシア人の思春期成長 / 権田 絵里 (京都大・霊長研)
- A20 9:30-9:45 日本とポーランドの子どもの身体プロポーションと体格の発育 / 佐竹 隆 (日本大・松戸歯)
- A21 9:45-10:00 オセアニア集団における *CREBRF* 遺伝子非同義変異とBMIとの関連 / 中 伊津美 (東京大・理)
- A22 10:00-10:15 顔面ポルフィリン量にみられる *ABCC11* および *EDAR* のアジア特異的非同義変異の交互作用 / 木村 亮介 (琉球大・医)

先史・古人骨・DNA1 (座長: 木村 亮介)

- A23 10:15-10:30 江戸時代人歯石からの食物DNA解析の試み / 澤藤 りかい (琉球大・医)
- A24 10:30-10:45 祐天寺阿弥陀堂地下埋納物に関する調査・研究 / 佐藤 孝雄 (慶應大・文)
- A25 10:45-11:00 中世墓出土人骨に膠着したガラス状物質の分析 / 富岡 直人 (岡山理大・生物地球)

一般口演3

11月4日 C会場 15:00-18:00

霊長類1 (座長：高井 正成)

- A26 15:00-15:15 アジアとアフリカにおけるヒヒ族の多様性に関する要因／濱田 穰 (京都大・霊長研)
- A27 15:15-15:30 野生ヒヒにおける捕食者警戒と集団サイズ／松本 晶子 (琉球大・観光)
- A28 15:30-15:45 地上性の高まりが遊びの集団サイズを大きくした／島田 将喜 (帝京科学大・生命環境)

先史・古人骨・DNA2 (座長：米田 穰)

- A29 15:45-16:00 東日本古墳時代人のミトコンドリアDNA解析 (第2報)／安達 登 (山梨大・医)
- A30 16:00-16:15 MSMsの通史的検討が示す社会の複雑化の進展／米元 史織 (九州大・総合博)
- A31 16:15-16:30 鹿児島県広田遺跡出土人骨の形態分析による身体的特徴の検討／高椋 浩史 (土井ヶ浜ミュージアム)
- A32 16:30-16:45 弥生人のミトコンドリアゲノム解析：多様性、地域差について／水野 文月 (東邦大・医)

先史・古人骨・DNA3 (座長：安達 登)

- A33 16:45-17:00 縄文時代人の核ゲノム分析による系統と地域差の検証／神澤 秀明 (科博・人類)
- A34 17:00-17:15 縄文時代人の尺骨骨幹部形態／萩原 康雄 (新潟医療福祉大)
- A35 17:15-17:30 保美貝塚の縄文人はなぜマッチョなのか？－上腕骨からの予備的考察－／海部 陽介 (科博・人類)
- A36 17:30-17:45 岡山県船元貝塚・熊本県轟貝塚出土人骨のC14年代と考古学的検討／山田 康弘 (歴民博)
- A37 17:45-18:00 上黒岩第二岩陰の発掘調査／遠部 慎 (久万高原町教育委員会)

一般口演4

11月5日 C会場 9:00-12:00

霊長類2 (座長：松本 晶子)

- A38 9:00-9:15 ウガンダ、カリンス森林に生息するオナガザル科霊長類4種の採食果実の堅さと食物重複／五百部 裕 (梶山女学園大・人間関係)
- A39 9:15-9:30 野生チンパンジーの対峙的屍肉食—同所的肉食動物との関係に着目して／中村 美知夫 (京都大・理)
- A40 9:30-9:45 タンザニア・マハレの野生チンパンジー社会におけるオスの単独生活の新事例／西江 仁徳 (京都大・理)

先史・古人骨・DNA4 (座長：海部 陽介)

- A41 9:45-10:00 頭蓋計測値からみた長江デルタ新石器時代集団：初期水田稲作の担い手についての検討／岡崎 健治 (鳥取大・医)
- A42 10:00-10:15 葬墓制からみた東南アジア島嶼部の初期金属器時代と海域ネットワーク／小野 林太郎 (東海大・海洋)
- A43 10:15-10:30 ハラアト・ジュハイラ (Harrat Juhayra) 遺跡から出土した人骨の特徴について／坂上 和弘 (科博・人類)
- A44 10:30-10:45 エジプト中王国時代ダハシュール北遺跡出土人骨の形態および古病理 (予報) ／馬場 悠男 (科博・人類)
- A45 10:45-11:00 Investigating the origins of negritos, the first Sundaland peoples／Timothy Jinam (遺伝研・集団遺伝)
- A46 11:00-11:15 神話・DNA・世界共通の「音と意」による、Y染色体ハプログループO2bインドから日本へ渡来「仮説」／酒井 哲夫

歯 (座長：國松 豊)

- A47 11:15-11:30 ヒト永久歯象牙質の形成過程のモデル化／蔦谷 匠 (京都大・理)
- A48 11:30-11:45 共焦点レーザー顕微鏡を利用した三次元マイクロウェア解析／久保 麦野 (東京大・新領域)
- A49 11:45-12:00 先天性欠如歯をもつ日本人男性の残存歯の大きさと変異／山田 博之 (愛知学院大・歯)